

有機顔料中のPCB分析

作成日：平成27年7月



非意図的にPCBを含有する可能性のある有機顔料について(行政指導)

平成24年2月10日、経済産業省より以下の内容の文書が発表されました。(抜粋)

- ◇化成品工業協会報告により、一部の有機顔料の製造工程で非意図的に生成したPCBの含有が判明。
- ◇国際的な基準を超えることが判明した有機顔料について、製造、輸入及び出荷停止を指導。

分析方法

- ◇ガスクロマトグラフ／電子捕獲型検出器 (GC/ECD) 法
- ◇ガスクロマトグラフ／四重極型質量分析 (GC/QMS) 法
- ◇ガスクロマトグラフ／高分解能質量分析 (GC/HRMS) 法
- ◇トリプルステージ型ガスクロマトグラフ質量分析 (GC/MS/MS) 法等があります。



株式会社

タツタ環境分析センター

<http://www.tatsuta.co.jp/bunseki/>

有機顔料中のPCBの特徴

- ◇PCBは多くの異性体からなる化合物の総称です。
- ◇今回発表の有機顔料は、化学的プロセスの非意図的な不純物として副生されるもので製造プロセスにより異なっており、製造工程で生成される特定の異性体が問題になっているとされています。

弊社の分析方法

- ◇顔料中のPCBの特徴は、従来の発生由来が特定されるカネクロール（KC300、KC400、KC500、KC600）と異なるため、副生物の定性的な情報が得られ、発生のメカニズム等の解析に優れたGC/HRMS法及びGC/MS/MS法が最適と考えています。
- ◇顔料中のPCB報告下限値として、先の行政指導文書で採用されている「国際条約（残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約（POPs条約））において流通させるべきでないとされている濃度0.005%（50ppm）」の1/500である0.1ppm以下を提供出来ます。

㈱タツタ環境分析センターでは、PCB等の極微量分析に豊富な経験と実績及び多くの知見があります。

是非、お問い合わせください。

お問い合わせ

- ◇有機顔料中のPCB分析の費用・調査方法等のお問い合わせは、本社（東大阪市）営業部 浦田・大澤 本社（東大阪市）測定分析部 野間までご連絡ください。



株式会社 **タツタ環境分析センター** <http://www.tatsuta.co.jp/bunseki/>

本 社	〒578-8585 東大阪市岩田町2丁目3番1号 TEL:06-6725-6688	神奈川事業所	〒253-0041 茅ヶ崎市茅ヶ崎3丁目3番5号 TEL:0467-87-0967
奈良営業所	〒634-0072 奈良県橿原市醍醐町296-1 TEL:0744-24-3229	福岡営業所	〒810-0022 福岡市中央区薬院1-13-8 九電不動産ビル5階 TEL:092-761-7354
三重営業所	〒518-0627 三重県名張市桔梗が丘7番町3-4 Mビル202号 TEL:0595-66-2702	名古屋営業所	〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-5-22 名駅DHビル6階 TEL:052-586-4134
福知山事務所	〒620-0853 福知山市長田野町3丁目17番地 (タツタ電線京都工場) TEL:0773-27-3331~3(総務係)	沖縄営業所	〒901-2131 沖縄県浦添市牧港2-4-1 TEL:098-875-0817
兵庫営業所	〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-37-22 TEL:06-6426-3222		